

鶴間市長が「第二子からの保育料無償化」を発表・・・ でも、市長公約は第一子からの保育料無償ではなかったでしょうか？

1月10日の定例記者会見で、鶴間市長は4月から所得制限を設けず第二子以降の0～2歳児の保育料を無償にすると発表しました。これ自体はとても大事なことで、共産党も賛成です。しかし、第二子の保育料無償化は、前市長の蝦名さんが議会答弁で4月から行うとあらかじめ約束していたことで、新市長の英断とは言えません。しかも、よくよく考えてみると、市長選挙の公約に照らすと、明らかに後退と公約違反が浮かび上がります。

現在の保育料は3歳児以上は無料ですが0～2歳については親の収入によって負担する額が変わります。釧路市は第二子は半額の保育料を徴収しています。



今回の市長の発表は、保育料はこれから第一子が0～2歳の間だけかかることにして、第二子も無料にするということです。

市長は「子育て世帯の負担を軽減し、安心して子どもを産み育てやすい環境を整えるため」と説明しました。対象の子どもは127人と見積もられ、必要な予算は3500万円ほどです。

でも、7年度から第二子以降の保育料について、「所得制限なしに無償とする」と約束したのは昨年9月議会での前市長の議会答弁です。鶴間市長はこれを踏襲したにすぎません。

◆市長選の公約は第二子から

鶴間市長は、市長選挙で「人口減少対策」として、産後ケアの充実。女性が子育てしやすい職場環境づくり。保育士・介護士の処遇改善。資格取得支援。保育士や介護士などに直接渡せる支援金などと合わせて、0から2歳児の保育料の無償化を公約しました。（青年会議所主催の候補討論会）こ

ここでは第二子からとの「ただし書き」はありません。

しかも別の討論会では、さらにはっきり述べています。北海道新聞主催の候補者討論会です。

子育て支援について問われた鶴間候補は、白糠町が第一子から無償にしていることをを例に出して、「これをしっかりサンプルにして追っていききたい。第一子も無償化していきたいと考えております」と発言しました。市長の公約が『第一子からの無償化』であることははっきりしています。

◆いまこそ市民の声を聴いて

第二子からの無償そのものは大賛成です。しかし、これでは鶴間市長を選んだ市民の期待に応えたものとは言えません。改めて鶴間市長が、「第一子からの無償化に挑戦しよう」ということなら、その点では共産党は応援したいと思っています。



あわせて先に紹介した市長の公約、

- 産後ケアの充実
 - 女性が子育てしやすい職場環境づくり
 - 保育士・介護士の処遇改善
 - 資格取得支援
 - 保育士や介護士などに直接渡せる支援金
- こうしたものも実現に向けて突き進んでいただきたいと思います。